

令和元年度(平成31年度) 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	生涯学習・研究活動の発表の場としての会食コンサート
事業主体 (連絡先)	学校法人高松学園 飯田女子短期大学
事業区分	(3)教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	873,453 円

事業内容

令和元年6月1日に「春のご当地グルメライブフェス 焼菓子ロックフェス」を開催し、受付通過者180名(一般65、高校81、短大34)、参加団体は、調理3、ステージ22を得て10:25-16:25の開催となった。

令和元年12月15日に「吉鍋ロックフェス」を開催し、受付通過者215名(一般63、高校93、短大59)、参加団体は、調理3、ステージ34を得て10:30-17:45の開催となった。なお、この吉鍋ロックフェスでは、ステージ発表団体が多かったため、第二ステージを設けることとなった。

事業効果

- ①「春のご当地グルメライブフェス 焼菓子ロックフェス」を立ち上げイベントとして新設・機能させ、地域活性化に向けた生涯学習・研究活動としての音楽・学習・研究団体及び調理活動参加者の裾野を広げた。
- ②「吉鍋ロックフェス」の継続により、生涯学習活動としての音楽・学習・研究団体及び調理活動参加者の定着を図ることができた。
- ③上記二イベントの開催により、地域活性化活動としての生涯学習・研究活動を促進させることができた。
- ④準備委員会・マネジメントチーム、実行委員会といった学生を中心とした組織及び、高等教育機関(飯田女子短期大学)における「地域活性化論ゼミ」の活動により、地域活性化活動としての生涯学習・研究活動の促進、及び、地域における世代間交流促進を図ることができた。

今後の取り組み

今後は、より多くの、そしてより多様な学習を行う参加者が得られるよう、積極的な広報と、そして地に足をつけた着実な、つまり、継続的で、より地域との連携を強化した事業としてゆきたい。従来までに得られた支援により、ノウハウの蓄積、関係者ネットワークの構築等は、軌道に乗ったと考えられる。とりわけ、「吉鍋ロックフェス」は第四回を無事に行うことができ、地域の認知も広がってきたと考えられる。今後も発展的に継続して行くに十分なキャパシティをもてるよう、企画・運営体制、施設・設備のスケールアップを図ってゆきたい。



【春のご当地グルメライブフェス】

【目標・ねらい】

- ①「春のご当地グルメライブフェス」の新設により参加者の裾野を広げる。
- ②「吉鍋ロックフェス」の継続により参加者の定着を図る。
- ③イベントの開催により、それに向けた地域活性化活動としての生涯学習・研究活動を促進させる。
- ④イベントを企画運営する学生の組織をつくり、機能させる。

※自己評価【 B 】

【理由】 「食」の学習・研究に関しては、参加者の創意工夫により、想像以上の成果を得ることができた。また、ステージに関しても予想以上の参加者があり二ステージ制を採用する盛り上がりを得たが、多様化は思ったほど進まなかった。